特集 梅光学院大学 第16回ルーキス祭に共催して感じたこと

2017.11.12.sun

共催×事業　ともに歩む

昨年2月に梅光学院大学・学友会より「大学として近隣地域の皆さまと学校行事等を通して連携をしたい」との申し入れがあり、この度ルーキス祭で共催することとなりました。

学友会と4回にわたり協議を重ね、もちつきを主体に当協議会の環境・防災対策部会がこれまでに取り組んできた事を学生さんと一緒になって、ご来場の皆さまに体験していただきました。

避難所ボランティア体験、ハイデックス炊飯による炊き出し体験、避難所内のプライバシーを確保する、ワンタッチで使用可能なダンボール間仕切り作成、また、ふれあい農園を利用したイモ掘りと焼きイモの各ブースを学生さんと共同運営しました。

次回共催の場合は、もっと有意義になる催しにしたいと感じました。

muku muku cafe ムクムクカフェ

地域の方々や、認知症について気になる人などが気軽に集い、色々な催しを通して、交流を楽しんでもらうため、この度オープンいたしました。

下関市役所東部地域包括支援センターのサポートのもと、スタッフ一同取り組んでまいりますので皆さまお気軽にお立ち寄りください。

開催日時／毎月第3水曜日
午後2時00分～午後4時00分
開催場所／椋野町民館（下関市椋野町2-342-1）
参加費用／100円

～MENU～

2017年11月…フラワーアレンジメント・脳トレ・体操など
2017年12月…読み聞かせ・脳トレ・体操など
2018年 1月…習字・脳トレ・体操など
2018年 2月…介護用品について・脳トレ・体操など
2018年 3月…乞うご期待

特集

「嗤（わら）うな、隠すな、認知症　いつか自分も行く道だから」

ムクムクカフェ はじめました!!

新年あけまして おめでとうございます

人形制作者 桑原　修
（粘土人形作家・下関市彦島在住）

昨年中は大変お世話になりました
心より御礼申し上げます
今年もよろしくお願い申し上げます

平成三十年元旦

中東地区まちづくり協議会　一同

ふれあい農園 Happy Farm 体験交流会

開催地区／貴船地区　開催場所／中東地区ふれあい農園

9月30日㊏に参加者44名で約3,300個の大根種まき開催、11月4日㊏には参加者51名によるサツマイモ掘りを行いました。

いずれも好天に恵まれた秋の一日を楽しく、作物の栽培体験交流を行うことが出来ました。

大根種まきは、ひと粒ひと粒丁寧にまきました。11月初旬には間引きも行い11月末から収穫が始まりました。

イモ掘りは、安納いも、紅はるかの二種類で約350kgの大収穫でした。

畝づくりに市役所職員4名のご支援を頂きましたこと、紙面をお借りして感謝・御礼を申し上げます。

9月30日㊏ 大根種まき

11月4日㊏ サツマイモ掘り

まちづくり協議会主導の活動報告

第2回 ワークショップ

開催日時／10月22日㊐ 午後2時00分～午後4時00分
開催場所／勤労福祉会館 4階 大ホール
参加者／29名　梅光学院大学 学生2名（カンボジアからの留学生）

2月12日㊐の第1回に引き続き、今回も梅光学院大学 松永教授のご指導のもと、第2回ワークショップを開催いたしました。

前回では、地域の自慢点や改善点を抽出しましたが、今回は町のお宝についてや、地域をどのように変えたらいいか等を討議いたしました。

なお、詳細については、当協議会事務所で閲覧できますのでお問い合わせください。

●問い合わせ先　中東地区まちづくり協議会
TEL 083-250-8380

第1回 平成29年度 まちづくり研修会

開催日時／10月25日㊌ 午後1時30分～午後4時00分
開催場所／市役所新館 5階 大会議室
参加者／当協議会より2名参加

下関市は約40年前が人口増加のピークで、その後は高齢者が増え、少子高齢化が他市と比べて、10年も進んでいます。

そのため、慢性疾患の高齢者に対する後方支援が必要となっています。

現在、各医療機関によって役割が異なり専門化しています。

下関市は介護費用の増加や、担い手不足で医師が集まってくれない地域であります。

「地域医療構想調整会議」より中間まとめ

第2回委員会 住民自治組織におけるコミュニティービジネスの推進と地域課題の解決に向けた地域活動の推進に関する調査研究

開催日時／10月26日㊍ 午後7時00分～午後9時00分
開催場所／下関市長府東公民館 第1研修室
参加者／各協議会よりオブザーバー8名参加

調査対象モデル地区防災マップづくり事業の中間発表を、長府東部地区まちづくり協議会で作成したマップを使って、町歩きでの写真を地図上に貼り、今後の地区での問題点の掘り起こしをシュミレーションしました。

詳細がわかる写真については個人情報等の扱いに気を付け、マップを全戸配布せずに協議会で2部作成したものを保管するとのこと。

長府東部地区まちづくり協議会は岡山市、真庭市を訪問し、両市の防災マップ関係資料を入手。当協議会は自主防災組織結成のための手順資料をいただきましたので、今後の運営に役立ちそうです。